

## 令和3年度第4回京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会 会議録

1 開催日時 令和4年3月25日（金）午前11時00分～午後0時05分

2 開催場所 京丹後市役所（3階）302会議室

3 出席者氏名

(1) 京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会委員（6名中6名出席）

行待佳平 委員長、今井みどり 副委員長、田中匡代 委員、小谷順一 委員、  
川口勝彦 委員、吉岡高博 委員

(2) 事務局、関係部局

川口誠彦 市長公室長

松本晃治 市長公室政策企画課長

増田あづさ 市長公室政策企画課主任

小坂貴寛 教育委員会事務局学校教育課長

松本祐奈 教育委員会事務局学校教育課主任

久保有紀 教育理事兼総括指導主事

川村義輝 生涯学習課長

4 議事等

(1) 委員長あいさつ

(2) 議事

ア 令和4年度基金運用益等活用事業（案）について

- ・グローバル人材育成事業～グローバルリーダーを育てるために～
- ・おとまち響プロジェクト推進事業
- ・市民陸上記録会 in 京丹後はごろも陸上競技場

5 公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人の人数 0人

7 要旨

≪議事経緯≫

(1) 委員長あいさつ

年度末で大変お忙しい時期ですがこういった会議がリモートでできることは大変ありがたいと思います。今回は1月に検討いただいた内容の修正案などを再度ご検討いただくということでお集まりいただきました。短時間ですがいろんな審議をいただきまして会議が進みますようお願い申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

## (2) 議事

### ア 令和4年度基金運用益等活用事業(案)について **資料1**、**資料2**、**資料3**

(説明) 資料に基づき、事務局から次年度事業の修正提案。

(質疑応答) 各事業に関する質疑応答は下記のとおり。

#### 【おとまち響プロジェクト推進事業】 **資料2**

(委員) 設置条件に、設置期間が年度内限りとありますが、年度を越えたら再度予算をとって実施される予定ですか。

(生涯学習課) 現在想定しているのは、お話しいただいた通り年度内ということと期限を切っております。民間の事業者様等にお貸しする場合、2年、3年での設置ということになりますと特定の方に市の財産を長期間使っていただくことになるため、年度内で区切るのが良いだろうと課内で協議しております。お貸しする中で、施設にピアノを置くことが良いことだねという話になりましたら、その後は事業者様や個人様で新たにピアノを用意していただくということでもっていければ良いなと思っております。

(委員) 公共施設への設置も同様ですか。

(生涯学習課) 公共施設の設置については、現時点では年度を区切らず当分の期間設置が許していただけるようでしたら継続して置いていきたいと思っております。

(委員) わかりました。ありがとうございます。

(委員) 貸出期間が年度内という意味で捉えたら良いですか。

(生涯学習課) そのように考えております。

(委員) 音楽活動ができる環境の整備で、電源設備の改修施設を3カ所されるとなっておりますけれど、市内の都市公園等3カ所はどこを予定しておられますか。

(生涯学習課) 想定としましては、峰山総合公園、途中ヶ丘、八丁浜の公園を想定しておりますが、やはり騒音の問題等クリアしていかなければいけない条件や課題があると思っておりますので、現時点ではそこを視野に入れて3カ所程度の改修を考えております。

(委員) その場合、電源だけ設備しても意味がないように思うのですが、演奏ができるステージのようなものがあると思っておりますがどうお考えですか。

(生涯学習課) まずは音を出せる場所の整備ということですが、それぞれの公園内にステージのような場所があるところを選定しており、現存しているものを活用して実施できるようにと考えています。

(委員) バンドなどをするとたくさんの電源がいると思うのですが、そのあたりも考慮されての工事費ですか。

(生涯学習課) バンド活動の演奏ができることを想定して考えております。

(委員) 分かりました。

(委員長) 広く市民の皆さんに理解を広めるために、広報の映像のようなものを取り入れてみんなが見れるようなことができないかと思っております。せっかくするのももったいない。広めるためには何か方法が必要なのではないかという気がしたのですが、お聞かせいただけますか。

(生涯学習課) 応募があった団体様にお貸しする際に、条件として今考えていますのは、個人や団体様でSNS等でピアノを使っている様子や設置している風景を発信していただくというようなことを考えており、音楽を活用した街づくりのこの事業を広く市内外に発信していただきたいというふうに考えております。

(委員) 分かりました。ありがとうございました。

(委員) 予算を見ると、ピアノの運搬や調律などは2台分だけみてあって公募の台数はみていないようですが、借りる方が自分で取りに行き調律もしなさいという意味でしょうか。

(生涯学習課) おっしゃる通りで、一般で貸してほしいという方につきましては運搬を自前でしていただき、調律が必要であれば自分で調律をしていただくことを条件にしたいと考えております。

(委員) 公募で貸し出すわけですから、運搬も調律も市で負担してあげた方が良いのではないですか。

(生涯学習課) 予算の議論の中で当初は市で負担することも想定したのですが、貸りる費用が無料ということもあり、一定部分は利用される方に費用をみていただいた方が良いのではないかという議論で、このように設定しました。

(委員) そうなると、応募される方がいるのかなという疑問があるのですがどうでしょうか。

(生涯学習課) 今のご意見も踏まえて、今後細かい制度設計を詰めていくこととなりますので、ただ現在予算が組めていませんので、応募していただけるよう考えて周知やPRも積極的に行き行って、せっかく実施するなら利用していただけるように考えたいと思っております。

(委員) 丹後王国での設置は野外ですか。

(生涯学習課) 最初に正門のゲートをとということでお話をさせていただいていましたが難しいということで、屋根のある屋内、あるいは施設の一部に置いていただけないかという話を今しているところです。

(委員) 分かりました。

(委員長) 他にないようでしたら、今のご意見を加味しながら設計にあたっていたきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 【市民陸上記録会 in 京丹後はごろも陸上競技場】資料3

(委員) 車いす競技の部がありますが、京丹後市にどのくらいの参加があるのかということと、車いすの方のためのスタッフなど今までにはないことなのでスタッフの準備等どうなのかなと思いましたがいかがですか。

(生涯学習課) 昨年度は実績がなかったと理解していますが、何人の想定でということが私の方で把握ができておりません。申し訳ありません。

(委員) 賛成なのですが、資料の見積書の中で訂正された方がいいと思い発言させていただきます。競技役員の昼食・弁当代とありますが、良いと思うのですが食事代を出すというのは補助事業ではだめだと思うので日当等の名目に変えた方がいいと思うのですが。

(事務局) 補助金の要領の中で、お弁当代も一人千円の範囲で認めております。

(委員) 行政の執行内容として適切な項目ではないと感じます。記載内容について検討されてはどうか。

(委員長) 競技補助員交通費と公認審判員交通費はあるけれど、競技役員だけが交通費はないのですか。協議補助員も公認審判員もどちらも競技役員に含まれるという意味ですね。

(生涯学習課) はい。公認審判員と競技補助員を足して競技役員の数ということになると思います。

(委員) 車いすのスタッフがはいっていないということなので、予算が少し変わってくるかと思いますが。

(生涯学習課) 車いすの対応をされるスタッフも北丹陸上競技協会の役員で対応していただくということだと思っております。

(委員長) 先ほどの把握されていないという回答と違うような気がしますが。

(生涯学習課) 車いすの方の参加想定について把握できていないということです。

(委員) 含めたものだという理解で良いのですね。

(生涯学習課) はい。

(委員) 参加者は250人となっていますが、超えた場合どうされますか。

(委員) 去年の大会の参加者は何人でしたか。ケーブルテレビで見る限り、私は250人が多すぎるようで心配だったのです。大勢の参加者があるのは良いことですけれど、去年を見ると少なかったので周知徹底をしてほしいなと個人的には思ったので、逆に多い場合というのは発想に無かったです。できるだけ多くしてほしいなと思っていました。

(生涯学習課) 定員ということですので、最大対応できるのが250人だという理解をしています。去年はコロナの非常事態宣言などで周知や練習期間がなかったこともありまして、結果として子どもの高校生以下が36人、大人が23人の合計59人ということで当初の想定よりは少なかったということです。

(委員) 結構参加者があると思っていたので少し違ったようですが、スポーツは海外でも、競争ではないんだ、順位をつけるのはおかしいという話があると思うのですが、今回順位をつける競技しかないと思うので、走るのが遅いけれど参加できるとかそういった種目を何個かつくことで参加者も増えるいろいろな人がスポーツに参加できるのではないかなと思うので、無理なら良いですが、何か検討してもらって、誰でも参加できるような競技を枠外でもいいのでおいてもらったら変わってくるのではないかと思います。検討してもらったらという要望です。

(委員) 収入の大人の参加費と記録証の手数料というのは、何に使われるのですか。分かりましたら教えてください。

(生涯学習課) 参加費を北丹陸上競技協会さんが何に充てるのか正確に把握ができておりません。ただ、入りの見込みにつきましては、見積もりの30万円から入りを引かせていただきましてその分を基金でお世話になれたらと思っております。令和3年度もそうでしたが、実際には当初の収入見込みよりも少なかったですけれども、その差額の分を補填していただくことにはしております。

せんのでご理解いただけたらと思います。

(委員) 令和3年度から始められた事業ですが、毎年続けていかれる事業というふうに考えておられますか。

(生涯学習課) 3回、4回とそれ以降も継続して行っていきたいというふうに考えております。

(委員) 参加費の件ですが、特に使う目的がないのなら無料にしてもいいのではないかと思いますでしょうか。スポーツをするのになぜ500円払う必要があるのかという話になってくると思います。全部基金で賄えるなら、どうせ使うなら参加料は無料にしたほうが参加しやすいと思いましたがどうですか。

(生涯学習課) 細部で把握できていないところがあり申し訳ありません。参加者に自己負担いただいて他の大会と同様に実施するものだと思っております。ただ、今いただいたご意見も踏まえまして確認をさせていただきます。

(委員) 難しいようなら結構ですが、もしできるなら一度やってみて、お金が足らなくなると困るなら次からはお金をもらってというようなことで実施しても良いかなと思ったので、検討してみてください。

(委員長) これによって裾野を広げたいという目的の大会なのかなと思ったのですが、どういうふうに取り組まれるのか、市民にお任せしてほったらかしのかな、数年にわたって実施されるということなのでそれなりの段階的な目標設定みたいなものがほしいなと思ったのですがいかがでしょうか。

(生涯学習課) 細かい目標設定というものができておりませんが、この大会に限らず、いろんなスポーツに関わる事業を行って市民の皆さんの日常的なスポーツ習慣を促進していきたいということでスポーツ推進計画にも記載しておりますので、そういった目標を達成するためにこの記録会も行っていくという位置づけで考えております。

(委員長) 分かりました。横のつながりを繋げていっていただきたいなと思います。

(生涯学習課) 体育協会にも共催で協力していただきますので、大会の準備等ご協力いただくものと考えておりますし、主には主管としまして陸上競技協会の役員を中心に運営をお願いするというような形で実施をします。

(委員) 去年の大会をケーブルテレビで見せていただいたのですが、小学生や高校生の参加が少ないと思いました。希望ですが、参加の幅を広げていただいて、親御さんが参加するからついてくる子どもさんもいるので、記録会ではなくて市民がもっと参加しやすい方法をもう少し考えていただきたいなと思います。

(委員) 主催が京丹後市と京丹後市教育委員会ではごろも陸上競技場を広くPRしたいということが主旨のように思えるのですが、体育協会が本来やるべき事業ではないかという認識を持っているのですけれど、そのあたりの整理はどうなのですか。

(生涯学習課) 体育協会の関係は、教育委員会と市が主催しており体育協会に委託して実施する事業ではないので、陸上競技場のPRも兼ねまして、あくまでも主催は市と教育委員会が行うものだと考えております。参加しやすい大会

にということで、また検討もしていきたいと考えておりますが、記録会という名前がついておりますのは、参加者のレベルももちろん違いますので、リニューアルした陸上競技場で正確な数値が測定できるようになりましたので自分の記録がいくつだったのかということを知りたいという市民に皆さん誰もが自分の正確な記録を気軽に知れて、1年後の大会に参加していただきどれだけ記録が伸びたかを知っていただく場にしたいという意味もありますので、先ほどのご意見も踏まえて検討したいと思います。

(委員) 一度整理されたらどうかなと思いましたが、令和3年度は完成のお披露目というスタートだったと思うのですが、それを毎年続けていくということで、市民に広く競技場で走れることを知ってもらうことと、今回提案されている記録会と、できるなら2回に分けて整理された方がいいと思いますし、欲張りすぎているような感じがするので、いかがでしょうか。

(生涯学習課) いただいた意見も踏まえて検討したいと思います。あくまでも現時点では市民に気軽に参加していただける競技場を使っただけ、そして正確な記録を計れることをPRしてたくさんの方に参加していただけるように考えていきたいと思っております。

(委員) 競技場をPRするとスポーツ人口を増やすのなら、参加費をとらなくても基金の中で全部やれば私は良いと思います。体育協会や陸上競技協会が主催であれば参加費がいると思いますが、教育委員会がそういった目的で実施するなら全額基金で実施すれば良いのではないかと思います。

(委員) 正確な記録が計れるということと、誰もが参加してもらえるとということの目的設定が全然違うと思います。正確な記録が計れる競技場をPRしたいならスポーツをしている人を対象にアプローチした方がいいですし、誰もが参加できる競技場をPRしたいなら別のアプローチをかけた方がいいですし、分けて考えた方がいいのではないかと思います。

(委員長) 資料の目的のところ、競技場は活用するだけと記載されており目的は競技場のPRとはなっていない。今の論議だとせっきくの案が全くの白紙になってしまう気がしますので、そこは少し置いて、あとは教育委員会にお任せした方がいいような気がするのですがいかがですか。

(委員) 大丈夫です。自分の団体でも、どこにアプローチして参加者を募るのかというところで難しいなと感じているところがありますので、上手くしていただいたら良いと思います。

(委員) 陸上競技協会から体育協会にこの話はもらっていて、体育協会は法人化に向けて今取り組んでいるところで過渡期ということもあり、予算も含めて難しいところもあって、北丹陸上競技協会が競技者と子どもたちに対して記録を伸ばしていくためにということで進められています。自分の記録を知って伸ばしていく、競技場もタータンに変わったということで多くの人に知っていただくということで、競技に目覚めてほしいという意味もあるのですが、実際の参加人数は少ないです。子どもたちに大会を経験させて切磋琢磨することが記録を伸ばす糧になると思うのですが、なかなかそういう実態になっていません。両方の面も含めて今後考えていかないといけないと思

ますが、なかなかできていないのが現状です。

(事務局) 先ほどのお弁当代の説明の中で誤解を招く説明がありましたので修正させていただきます。先ほど、補助金の要領で認めていると説明しましたが、それは政策企画課の事業の「韓哲・まちづくり夢基金事業補助金」の要領のこととして、今回の市の直轄事業としての要領のことではございません。この直轄事業は何かしらの要領で内容について定めているものではありませんので、誤解を招く説明を訂正し改めてご説明させていただきますと、市の行事でお弁当を出している行事というのは他にもあります。意味合いとしては、謝金をお支払いするのではなくてそれをお昼のお弁当として支給して活動していただいているという部分もありまして、基本的には市の全体の行事の弁当支給の考え方にかかってくると思うのですが、委員がおっしゃられたように記載の仕方については後程生涯学習課とも話をしたいと思っておりますけれども、弁当の位置づけについては市全体で他の行事についてもこれまでから支給させていただいているという経過がありますので、そういったことをご認識いただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

(委員長) いろいろご意見いただきまして、あとは教育委員会で取りまとめていただくということで納めさせていただいてよろしいでしょうか。いろんなご意見いただきましたので、それを含めて検討いただくということで、あくまでも韓哲まちづくり基金の委員会ですので、その観点で我々は審査しないといけないということがあります。広い範囲になると委員会の主旨が崩れてしまうことになる気がしますので、その辺を加味していただいて今のご意見を参考にしていただきたいと思っております。

#### 【グローバル人材育成事業～グローバルリーダーを育てるために～】資料1

(委員) どんどんやってください。

(委員) プログラムの中で講話の方が4名ほどあがっていますが、4名の方はもう決まっているのでしょうか。それとも、この4名以外にも講話の方を募集するとか参加していただく予定はあるのでしょうか。

(学校教育課) ここにあげておりますのは決定ではなく、あくまでも丹後学につながるような方々の講話を考えているということでございまして、いただいたご意見を検討させていただきながら3年間で繋げて行きたいと思っておりますので、十分な検討をさせていただきます。

(委員) ありがとうございます。もう一点、丹後学についてですが、保育園から中学生まで丹後学を何期、何期と分けて子どもたちに指導されているわけですが、今回の丹後学も含めてという話があるみたいなのですが、これ以上に予定されているものが分かっていたら教えていただきたいです。

(学校教育課) 今回のスカイラボプログラムの中での学びを教育課程で行っている丹後学に繋げていけたらなと思っておりますので、先に丹後学があるかというところ、今回のスカイラボの学びを、全部の子どもたちが経験できる丹後学の学びに繋げていきたいと計画していますので、まずは3年間じっくり研究をして丹後学に繋がられるように教員にも指導していけたらなと思っております。

す。

(委員) ありがとうございます。

(委員) やってもらったらいいと思います。参加人数が32人程度とありますが、子ども達の人数が結構いると思うので、これに留まらずフィードバックや共有もしっかりしてほしいなというふうに思います。

(学校教育課) ありがとうございます。

(委員) 子どもたちが、喜んで、楽しんでこの丹後学をやれているのか、卒業した子が丹後学を学んで丹後に帰ってこれているかという状況は、だんだん人口が減る中で、丹後学を学んで丹後の良さを知ってそれが生かされるような教育になったらと思っているのですが、丹後の素晴らしさを子どもたちは理解していない子が多いと思います。丹後で良かった、丹後の学校で良かったと思えるような教育を進めてほしいなと思っています。

(学校教育課) 保幼小中一貫教育をする中で、京都教育大学の教授の方と接する機会があり、その中で丹後から京都教育大学に進学した生徒がグループワークの中でこの丹後学のことを紹介した生徒がいると教えていただきました。大変嬉しいことだと思います。こういう子たちを一人でも多く育てていくことがこれからの使命だと思っていますし、今回のスカイラボという壮大なプログラムをする中で、更に丹後のことを好きになる子を育てたいと思っています。

(委員) 私ももともと丹後の人間ではないですが、だからこそ丹後の良さを認識していて踊りや着物に関わっています。子どもたちにそれを少しでも分かってもらって、外に出ても故郷丹後は素敵なことだよという思いを持ってほしいという思いで活動していますが、教育委員会でも広くこういうことをしていただけるのは嬉しいですし、結果が少しでも見えてきたということは本当に嬉しいことだと思いますし、英語プラス丹後学が入ることがありがたいと思いますので頑張っていたきたいと思っています。

(委員長) 私は産業的な分野で考えて、丹後は機械金属、織物、農業など高度な産業を持っています。しかし子どもたちはそれを知らない。各分野もグローバルになっており適切なプログラムかなと思っていますし、産業界も大いに巻き込んでいただければと思いますし、皆さん知らないことがまだたくさんあるし勉強しないと理解できない。織物もすごい技術ですから、学校では歴史的にこうだったということしか教えてもらえないですし、本当の技術は実際に見てみないと分からない。教えている学校の先生も知らないのが現実だと思います。海外のプログラムに触れるのもとてもいいことだと思いますので、ぜひこれは進められるべきかなと思います。よろしくお願いします。

(事務局) ありがとうございます。これにて会議を終了とさせていただきます。お疲れ様でございました。